

小学館集英社プロダクション、デジタル化による働き方改革を オラクルのクラウドで実現

キャラクターや各種教育サービスなどブランド別収益の横断的な管理を目的に「Oracle Fusion Cloud EPM」を導入

Tokyo, Japan—2020/10/09

日本オラクル株式会社（本社：東京都港区、執行役 最高経営責任者：ケネス・ヨハンセン）は本日、キャラクター・ライセンス事業や、幼児・小学生を中心とした教育サービス事業等を手掛ける株式会社小学館集英社プロダクション（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：都築 伸一郎）が、業務のデジタル化による働き方改革を目的に、クラウド経営管理ソリューションである「Oracle Fusion Cloud Enterprise Performance Management (EPM)」を導入し、2020年7月に稼働したことを発表します。

小学館集英社プロダクションは、主に、キャラクター・ビジネス等を担うメディア事業と、幼児・小学生向けを中心とした総合的な教育ビジネスを展開するエデュケーション事業を行っています。従来、多岐に渡る事業を展開していることもあり、統一したフォーマットでの報告資料の作成が困難となり、事業部によっては予算・実績管理の負荷が大きくなっていました。また、属人化したツールを用いて予算・実績の報告を行っており、属人的かつ煩雑な予算管理業務も課題となっていました。全社的な働き方改革の推進もあり、デジタル化による業務の標準化や、担当が変更となっても一元管理が実現できる仕組みが求められており、その実現のため、「Oracle Fusion Cloud EPM」を導入しました。

今回の導入で、業務の標準化を図るとともに、手作業のデータ転記・集計によるミスやその修正業務などが減り、担当者の生産性が向上するとともに、残業時間の短縮を実現しています。直観的なユーザー・インターフェースのため、操作も容易で、IT部門に頼らないシステム運用も選定の理由となりました。今後は、事業部横断プロジェクト計画などの領域でも活用することを視野に入れています。

本発表に向けたお客様からのコメント：

「小学館集英社プロダクションは、まなびに楽しさをプラスするエデュテインメント(edutainment)を企業理念とし、メディア事業とエデュケーション事業を柱とした事業を展開しています。全社で働き方改革を推進する中で、属人的かつ煩雑な予算・実績管理業務が課題となっていました。『Oracle Fusion Cloud EPM』の導入により、現状の業務を標準化・効率化することで生産性を向上し、残業時間の短縮を実現しています。データの加工や、多次元でのデータ分析も容易にでき、各事業に沿った最適な資料を短時間で作成することが可能になりました。今後は、社内での『Oracle Fusion Cloud EPM』の運用範囲を広げていき、事業部横断プロジェクトなどの予算・実績管理にも『Oracle Fusion Cloud EPM』を活用していく予定です。」

株式会社小学館集英社プロダクション 社長室経営企画課・課長 小林 恒太氏

参考リンク

- [株式会社小学館集英社プロダクション](#)
- [Oracle Fusion Cloud EPM](#)

日本オラクルについて

人々が、新たな方法でデータを捉え、知見を導き出し、無限の可能性を得ることをミッションにしています。データ・ドリブなアプローチにより情報価値を最大化するクラウド・サービス、それらの利用を支援する各種サービスを提供しています。オラクル・コーポレーションの日本法人。2000年に東証一部上場（証券コード：4716）。

URL： www.oracle.com/jp/

オラクルについて

Oracle Cloud は、セールス、サービス、マーケティング、人事、経理・財務、製造などを網羅する広範なアプリケーション群、「Oracle Autonomous Database」に代表される、高度に自動化され、高いセキュリティを備えた第2世代インフラストラクチャを提供しています。オラクル（NYSE:ORCL）に関するより詳細な情報については、

www.oracle.com/ をご覧ください。

* Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。本文書は情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。

本件に関するお問い合わせ先

日本オラクル株式会社

広報室 斉藤

03-6834-4837

pr-room_jp@oracle.com

Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. This document is provided for information purposes only, and the contents hereof are subject to change without notice. This document is not warranted to be error-free, nor subject to any other warranties or conditions, whether expressed orally or implied in law, including implied warranties and conditions of merchantability or fitness for a particular purpose. We specifically disclaim any liability with respect to this document, and no contractual obligations are formed either directly or indirectly by this document. This document may not be reproduced or transmitted in any form or by any means, electronic or mechanical, for any purpose, without our prior written permission.

This device has not been authorized as required by the rules of the Federal Communications Commission. This device is not, and may not be, offered for sale or lease, or sold or leased, until authorization is obtained.

Oracle and Java are registered trademarks of Oracle and/or its affiliates. Other names may be trademarks of their respective owners.

Intel and Intel Xeon are trademarks or registered trademarks of Intel Corporation. All SPARC trademarks are used under license and are trademarks or registered trademarks of SPARC International, Inc. AMD, Opteron, the AMD logo, and the AMD Opteron logo are trademarks or registered trademarks of Advanced Micro Devices. UNIX is a registered trademark of The Open Group. 0120

Disclaimer: This document is for informational purposes. It is not a commitment to deliver any material, code, or functionality, and should not be relied upon in making purchasing decisions. The development, release, timing, and pricing of any features or functionality described in this document may change and remains at the sole discretion of Oracle Corporation.